

お茶のこさいさい

～おいしいお茶の入れ方～

お茶かー

あんまり
飲まないんだけどなー

えーと
今月のばーちゃんからの
仕送りは…と

お米にイモ
野菜…と

!!!

ま、コーヒーにも
飽きたし
久しぶりに
飲んでみるか

『とても
美味しいので
毎日飲みなさい』



原作:ダンガン×漫画:森永みぐ

※この漫画に関するお問い合わせはダンガン株式会社 (<http://www.dangan.co.jp/>)まで





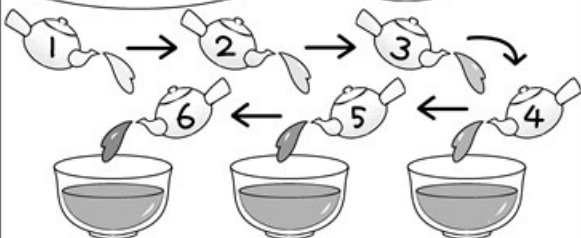
蓋をして
1~2分待つて…*

ゆふ、ちや
ぐまだよ

*茶葉の形がしっかりしている場合は1分半~2分
茶葉が細かく粉っぽいの場合は1分~1分半が目安

廻し注ぎでお茶の
濃さを同じにするんだ

だんだん
濃くなる



さあ
どうぞ!

!!

甘い!?

でしょー

ええ!?

さっき飲んだのと
同じお茶の葉なのに…!?

香りも
ちがう、

次は少し高めのお湯でいれるよ

急須にお湯が残らないよう
最後の一滴まで
出し切るのもポイント！



今度はさっぱりしてる！

なんで!?



緑茶は温度によって
抽出される成分が違うんだ

温度が低いと
テアニン(甘味・旨み)
高いとカテキン(さっぱり)が
多く出るんだよ



そして最後は…



召し上がれ！

ええ!?
これ食べるの？

じゃん!!





う……うまい！
やわらかくて
おひたしみたいだ！

マオネズも
マアズよ！

高級なお茶は薬も※
おいしく食べられるんだ

※薬の形が焼けている茶葉でお試ください



すごい……！
たったこれだけで
こんな魔法のように
おいしくなるなんて！



まさか君たち
魔法使い！？

ふ……ふ……

もっとお茶のこと
知りたくなったでしょ



ようこそ
お茶の黄金郷へ！

いらっさ~い

びびーん
茶

フツのお茶屋さん案内して
くれるだけでいいんだけど！？

一この後、緑茶仙人とその弟子たちに導かれ
彼が偉大なお茶の伝道師となることを
本人はまだ知る由もなかった